



森ボラ 通信

第218号 2020年7月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

私のボランティア活動

松井吉男

私のボランティア活動は、社会福祉施設が始まりです。現在介護施設2カ所、その他2カ所で活動しています。当会との出会いは地下歩行空間で何気なく手にしたのが、森ボラ新規会員募集中のパンフレットでした。内容を見ると地球環境、自然との共生などを目的とし、多様な職歴の知識・技術を有する方々の集まりでした。活動の内容から私の経験が少しでも役立つことが出来ればと思い、早速市山事務局長に電話を重ね、2020年1月に入会手続きを終えました。

活動に参加を重ねるたびに雰囲気にも慣れ何時も楽しく活動させて頂いております。まだまだ気の付かないところ、年齢的に身体が十分機能しない点など十分な活動ができない事が多くありますが、どうかご注意、ご指導を宜しくお願い致します。

先日活動の中で樫棒さんから林内を案内して頂き貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。その中で私なりに素朴に感じた事がありました。それは整理伐等で処理した木材は木道、薪炭、ホダギ等に利用していると聞いております。そこで発生する「端材の有効活用」が図れないかと、整理伐を終えた林地の放置された材を見て感じたところです。

当会は2019年に「さっぽろ環境賞 市長賞」、「緑の都市賞 内閣総理大臣賞」を受賞した名誉ある会です。その会の一員として参加できることを誇りに思っています。これらの賞に恥じない活動に取り組むことが肝要だと思っています。



作業道の伐根処理でツルハシを使う松井さん

活動報告

◆ 最近の現場活動報告

【その1～野幌道有林】



敷設した八角形の防草シート

7月10日(金)に野幌道有林169林班にて今年度二回目の活動を行いました。今回は前回終わらなかった自生稚樹マーキングと本数確認を午前中に行い、午後からは防草シートとチップ(木屑)の敷設を行いました。「NPO 近自然森づくり協会」理事長の岡村先生も参加して下さいました。

稚樹調査では3班合計で26種231本の稚樹にマーキングをしました。これは1ha当り約500本と当初の計画通りとなり、動物食害が心配ですが今後の成長がますます楽しみです。

防草シート敷設は3 m角のシートを岡村先生の指導で8角形に裁断して、稚樹の発生が見られない箇所を地ならしした後3カ所に敷設しました。さらにマーキングした稚樹には1 m角のシートを10カ所敷設して根元には碎石を敷き、乾燥防止と防草を兼ねます。また、澄川で作ったチップ(木屑)を持ってきましたので、稚樹の根元に敷き詰め、防草シートと同じような効果を期待したいと思います。今回は試験的な作業ですが今後全体に取り入れていきます。

【その2～澄川右精進川水質調査】



地点2 キャリ橋で水生生物を採取

7月13日(月)に昨年から継続している今年度2回目の水質調査を行いました。下流から上流までの4カ所の定点調査箇所にて気温、水温、電気伝導度、PH、水生生物採取を行いました。また、今回から流量測定のために流速と流下断面を簡易的に計測しました。現地で採取した水と水生生物は小屋に持ち帰り、パックテストと同定を行いながら写真撮影を行いました。水質調査を行っている会員は60、70歳台ですが学生時代に還り楽しく理科の実験のように行っています。この調査は今後も継続し、詳細な結果は後日報告します。

【その3～西野第二環境林】

7月15日(水)、西野第二環境林にて笹刈り、整理伐、標準地調査を行いました。ここは、10年ほど前に外来種のニセアカシア除去を目的に活動を行い、その後は入林していませんでしたが、昨年からのその後の状況を確認するために年に1、2回の活動を行っています。

標準地調査では、ここの森林を代表していると思われる20 m四方の箇所を選定し、生えている直径5cm以上の樹木の樹種、胸高周長を計測しました。樹種は9種、本数は67本でした。1ha当りに換算すると1,675本となりかなり混んでいる状況です。そのため樹冠が閉塞され、地面に日光が当たらず暗い印象で、枯枝が目立ち、立ち枯れの樹木も多々あります。

今後は札幌市の管理担当部署と相談しながら、明るい広葉樹林を目指していきたいと思っております。

(文・樫棒)



ニセアカシアを除伐し明るくなった林内

◆ 岡村先生の実践現場を見学

前回の森ボラ通信で報告されました「野幌の森 自然再生活動」をご指導いただく岡村先生の実践現場を6月23日に樫棒ほか6名で見学してきました。

前回の野幌ではhaあたり最終的に300～400本の密度を目指して、自生実生苗を5メートル間隔で選んで、苗の周りの草をツボ刈りし防草シートで被う方法を先生からお話いただきましたが、森ボラの育林方法とは大きく異なり実感の掴めないもどかしさがありました。最初に南区簾舞にある先生のご自宅そばの苗畑を見せ



苗畑：小さな苗が80種3万本

て貰いました。

木本60種、草本20種ほどの種から発芽させた稚樹が9cmビニールポットに植えられ、発泡スチロール箱にびっしり詰められ(35ポット/箱)、植栽年月日、採取地、樹名を記したラベルがつけられて整然と並べられていました。その数約3万ポット。私たちが一番驚いたのはほとんどの苗の背丈が10cmほどだったことです(トチのように養分をたくさん持つ大きな種子の稚樹はそれなりに大きい)。20数年前に植えられた苗もまるで盆栽のように小苗のままでした。これらは貧栄養で小さなポットで養生した成長抑制苗とのことでした。自然の状態に近い貧栄養にするため火山礫：赤玉土：腐葉土を3：1：1の割合の土を使い、根を少なくするため小さなポットに植え、表面に砂利を敷いて水分蒸発を防ぐ方法を説明して貰いました。植栽後は旺盛な成長を開始するそうです。

次に、定山溪鉄道藤野駅跡地に「藤野の自然を見守る会」の方々が先生の指導で20年前に植栽した「みんなの育てる森」を見ました。植栽後は全く手を入れなかったそうで、10数mの樹冠を形成したうっそうとした林になっていました。3200m²の広さの更地に3m間隔で防草シートを敷き(草の根を除去しシートのうえに



砂利を敷く)、シートの中心に複数の苗を植える方法を用いたそうです。自然の中で大木が根返り、むき出しになった土で種が発芽し、成長過程で選抜され一本の木が育つという一連の過程に近いと説明されました。



五天山公園：防草シートから顔を出している苗

最後は、西区福井にある五天山公園の自然林再生活動地を見ました。「子供と創ろう・種から育てる未来の森」グループの活動は約10000m²の採石跡地で先生の指導のもと2009年から続けられています。ここは岩の上に客土を施したため外来種の草が茂っている場所です。そのため直径3mの防草シートを一年間かぶせて草を枯らした後で、シートの円内に同心円状に9~10個の苗を植栽し、根元に砂利を敷き、シートの周りを草刈り

する方法でした。過去に自生していたと考えられる樹

種の中からそれぞれ異なる苗を植えます。植えた苗の中から1本が育ち残ることを目安にしているそうです。動物による食害も少なく順調に育っていました。岡村先生の実践現場を見学してお話を伺う中に、「野幌の森自然再生活動」で新しい育林方法を経験出来ることへの期待が膨らんできました。私たちは見ることでできない100年後の森はどんな姿になっていることでしょうか。(文・佐野)

■ 澄川の自然 11

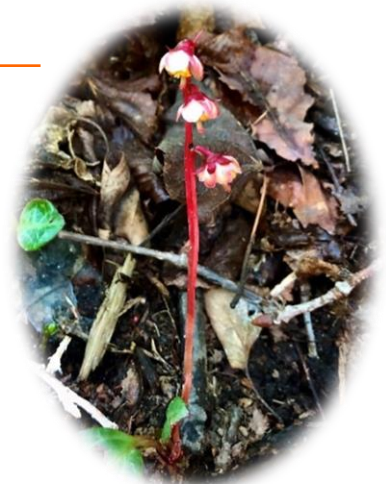
紅花一葉草(ベニバナイチャクソウ)・ツツジ科

高さ15cm~25cm位の常緑の多年草。

下の方から順番に咲き始めます。

地下茎で伸びて群生する様ですが、澄川の森ではまだポツンポツン位で、群生するのがたのしみです。ピンク色の花はとても可憐、下向きに咲きます。

先日活動した有明の森では、仲間のイチャクソウ(白い花)が大きな群生を作っていました。(文・西野(澄)/写真・三橋)



新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

村上雅文さん（岩見沢市志文町） 趣味：キャンプ

東海林嘉良子さん（札幌市中央区大通西） 趣味：日本画、英語学習、バードカービング、登山、テニス、バドミントン

丸尾浩さん（札幌市豊平区西岡） 趣味：ドライブ、登山、料理

■ 今月の幹事会

出席者(7月8日):市山・大窪・荻田・樞棒・加藤・清澤・佐野・釣井、三橋・矢澤・矢野

- 2020年8,9月スケジュール(8月幹事会8月5日(水)):9月以降の活動内容を検討。
- 2020年6月会計報告:了承
- 親子森林教室:6/14報告、7/19予定確認。
- 森林・山林多面関係:6/24,25モニタリング説明会報告。
- 岡村先生宅苗場、防草シートを活用した現場見学報告:本文参照。
- 現場対応
 - 7/10 野幌道有林:稚樹調査、防草シート布設試験実施。苗づくり、山取り苗植栽に取り組む。
 - 7/13 澄川:月寒公園、旭山記念公園担当者が来林。薪の状況確認。
 - 7/21 藻岩山幌南の森遊歩道整備。
 - 7/28 澄川 近自然森づくり岡村先生視察。
 - 7/30 野幌国有林成長調査実施。
- その他
 - 新入会員状況:3名入会。
 - 2020年度会費未納者対応:6月末に督促状送付。
 - バーニングペン等(事務所管理)借用リスト作成。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
6月17日(水)	有明	—	コロナウィルス対策として活動中止
6月19日(金)	澄川	16	ツル切り、薪材運搬、チップ準備、親子教室準備
6月23,24日	支笏湖コンサの森	—	コロナウィルス対策として活動中止
6月23日(火)	簾舞、五天山	6	防草シート施工現場視察
6月27日(土)	澄川	15	チップ作業、作業道草刈り、親子教室準備
6月30日(火)	澄川	—	コロナウィルス対策として活動中止
7月3日(金)	有明	15	作業道・植栽地草刈り、食害防止網点検補修
7月6日(月)	澄川	—	コロナウィルス対策として活動中止
7月8日(水)	ラルズ生活研究C	11	幹事会
7月9,10日	支笏湖ぶんぶんの森、復興の森	—	コロナウィルス対策として活動中止
7月10日(金)	野幌道有林	17	稚樹マーキング、防草シート布設テスト、チップ敷設
7月13日(月)	澄川	16	作業道・植栽地草刈り、水質調査、親子教室準備
7月15日(水)	西野第二	13	笹刈り、整理伐、標準地調査